

## 情報処理科

## 簿記会計

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小河原			実務 経験	有	職種	講師				

## 授業概要

基礎的な商業簿記の知識を学び、検定試験の合格を目指します。

## 到達目標

簿記会計の原理を学び、財務諸表上の数値がどのような経理処理の結果であるかを理解できる。具体的には取引発生から帳簿の締め切りまでの流れが理解できること。勘定科目と仕分けの方法を理解し総勘定元帳が作成できること。試算表を作成し仕分けのチェックができる。清算表の作成から損益計算書、貸借対照表が作成できることである。

## 授業方法

まずテキストに沿って学び適宜授業プリントも使いながら学習していく。学習内容の大略は、まず簿記の流れを理解すること。次に勘定科目と仕分けについて理解と作業ができるように学習する。ここでは様々な勘定科目を例題として実践的な仕分けを行なう。最後に決算として損益計算書、貸借対照表の作成方法を学習する。教科書だけでなく、現実の企業の財務諸表を参考に実践でも使える簿記会計を学ぶ。

## 成績評価方法

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

## 履修上の注意

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけではなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。全経簿記3級の対策問題などをプリントし、授業の中で演習を行う。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

## 教科書教材

スッキリわかる日商簿記3級

回数	授業計画
第1回	簿記概要
第2回	仕訳
第3回	日常の取引・仕訳(1)

第 4 回	日常の取引・仕訳(2)
第 5 回	日常の取引・仕訳(3)
第 6 回	日常の取引・仕訳(4)
第 7 回	日常の取引・仕訳(5)
第 8 回	日常の取引・仕訳(6)
第 9 回	帳簿(1)
第 10 回	帳簿(2)
第 11 回	決算整理手続き(1)
第 12 回	決算整理手続き(2)
第 13 回	精算表
第 14 回	財務諸表
第 15 回	帳簿の締め切り